

地域連携推進会議 議事録

日時:2026年2月15日(日)

場所:いまるホーム南行徳 1号棟

参加者:

- 利用者山田様のお母様
- 欠間々自治会 菊池様
- 利用者 青木様
- 渡邊
- 中村

1. 開会挨拶・趣旨説明

渡邊より、地域連携推進会議の目的について説明。

- 本会議は「地域と家族と利用者を交え、年1回以上開催すること」が千葉県の指導で義務化されている。
- グループホームは“密室性”が高いため、虐待・身体拘束の有無を外部から確認してもらう役割がある。
- 今後も毎年開催するため、継続的な協力をお願いしたい。

2. 事業所からの報告

■ ホームの運営理念・支援方針

- いまるホームは「仕事から帰ってくる家」であり、リラックスできる環境づくりを重視。
- 画一的なルールは設けず、利用者ごとに個別のルールを設定している。
- 他のグループホームのような「帰宅時間」「入浴時間」などの一律ルールはなし。
- 3年間の運営で 虐待・身体拘束は一度も発生していない。

■ グループホームの位置づけ

- ・ 障害者支援施設(重度・大規模)とは異なり、日中活動(仕事・作業所)に通う“自立を目指す方”が生活する住まいである。

■ 家族との連携

- ・ 利用者家族とは LINE でつながり、日々意見交換を行っている。
- ・ 「風通しの良いホーム」として運営できている。

3. 地域との交流・自治会の現状についての意見交換

菊池様(自治会)より、地域の行事や自治会活動について詳しい説明。

■ 地域行事の紹介

- ・ 盆踊り、神社祭礼、節分、子ども食堂など、年間を通じて多くの行事がある。
- ・ 2丁目は特に地域活動が活発で、夏祭りは毎週のように開催される時期もある。

■ 自治会の課題

- ・ 加入者が減少し、役員の担い手不足が深刻。
- ・ 高齢化により、行事運営も負担が大きくなっている。
- ・ ゴミ捨て場の利用ルールなど、自治会未加入者とのトラブルも発生しやすい。

■ いまのホームへの期待

- ・ 「地域の行事にもぜひ参加してほしい」
- ・ 「困った時は声をかけてほしい。地域として支え合いたい」
- ・ 「2丁目は仲間意識が強いので、安心して生活してほしい」

4. 家族からの意見・感想

山田さんのお母様より:

- 「本人が実家に帰ってこないほど居心地が良いようで安心している」
- 「市川市の“手をつなぐ会”でも『帰ってこないのは珍しい』と言われた」
- 「部屋の片付けが苦手なのが唯一の心配」
- → ホーム側も状況を把握しており、継続して見守る方針。

5. 利用者本人の様子

- 青木さんより「嫌なことは特にない」「楽しく過ごしている」との発言。
- 仕事(大戸屋)にも休まず通い、周囲からも評価が高い。
- 他の入居者とも良好な関係を築いている。

6. 経営状況・BCP(業務継続計画)の報告

- 開設初年度は赤字だったが、3期目で黒字化し安定運営に移行。
- 電気代高騰などはあるが、運営に支障はない。
- 災害時の避難確保計画・感染症対策など、BCPは整備済み。
- 年1回の避難訓練・感染症研修を実施している。

7. 施設訪問(見学)

- 菊池様・山田さんのお母様に1号棟・2号棟を見学いただいた。
- 「リフォームされており非常に綺麗」「掃除が行き届いている」との評価。
- 個室の整理状況については、引き続きホーム側で見守りを継続。

8. 今後の地域連携について

- 地域行事(祭り・子ども食堂など)への参加を検討。
- 「困った時は地域に頼ってほしい」との心強い言葉をいただく。
- ホームとしても、地域の一員として積極的に関わっていく方針。

9. 次回開催・閉会

- 次回の地域連携推進会議は 2027 年に年 1 回開催予定。
- 日程は決まり次第、参加者へ連絡する。
- 渡邊より閉会挨拶。

以上。